

AWS活用でシステムとコストをスリム化 基幹システムのクラウド移行を実現

導入の背景・課題

- インフラの保守期限終了に伴い、将来性、運用性、コストの観点で、業務機能を再配置しつつ、インフラ最新化、業務アプリケーションのバージョンアップを行う必要あり。
- 今後のバリューチェーン強化に向け、様々なIT技術を活用していくことが課題となっている。

導入効果

- AWS導入により、インフラの初期投資、運用費用、データセンター利用費用を抑制。公開前の構成と最新の構成を比較し、15%/7年の削減効果が見込まれる。
- 新技術を活用できる柔軟で拡張性のあるIT基盤をAWSで実現。

【適用業務】 マイグレーション

【OS】 Windows

【データベース】 Oracle Database、SQL Server

【主なAWSサービス】 Amazon EC2、Amazon RDS、Amazon Simple Storage Service、Amazon Cloud Watchなど

《お客様の概要》

こころとからだに、
おいしいものを。



- お客様名 : ダイドードリンコ株式会社
- 業種 : 清涼飲料等の販売
- 所在地 : 大阪市北区中之島二丁目2番7号
- URL : <https://www.dydo.co.jp/>

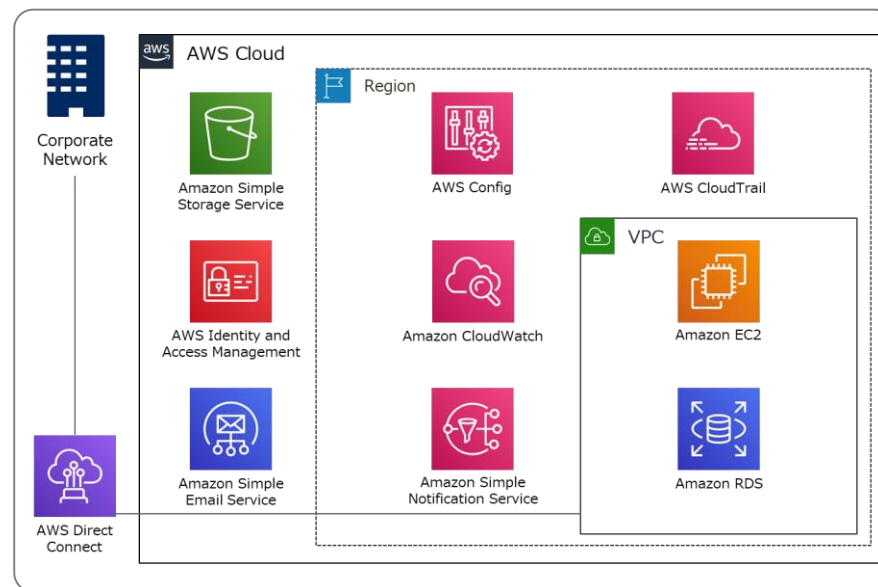
ダイドードリンコは、創業以来、本物のおいしさにこだわった清涼飲料の企画・開発と、自販機中心の販売体制・オペレーション体制により独自のビジネスモデルを構築してきました。

お客様から選ばれる商品・サービスのお届けに向け、ダイナミックなチャレンジを継続しています。

ご提案内容／システム構成図

- 基幹システム(SCM)の更改時に、複雑化したシステムのスリム化・効率化とAWSを採用することで、現行のオンプレ環境と比較し、コストメリットが出せていること。
- AWS採用で、検証がスムーズに実施でき、基幹系であるSCMのインフラ基盤としての安定性／堅牢性を確保し、更改後も安定稼働できていること。
- 将来のさらなるビジネス拡大に向けた新たなビジネスプラットフォームを構築できていること。

構築期間13カ月



お客様の声

- NECとの検討会を繰り返し、クラウド化への検討課題をひとつずつクリアしながらAWSの採用を決定しました。フラットな視点で弊社にあった提案をしていただき、信頼してシステム更改ができました。
- 移行予定のシステムがあるので、AWSを含め適切な環境への移行をすすめながら、今後は新たなクラウドサービスを利用して、業務データを分析、活用することで社内のSCM以外の業務を改善していくことを検討しています。